

# 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

鹿児島市立広木小学校

教諭 高田廉人

## 1 単元名 「広木の昔と今、そして未来」

## 2 単元目標

- 広木について調べて分かったことや気付いたことをまとめ、伝えることができる。(知識・技能)
- 自身のこれまでの経験や町探検、施設の見学などを基に今と昔の広木について比較し、気付いたことから課題を見出し、安心して生活できる広木の未来を形成するための方策を考えたり、伝えたりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 安心して暮らすことのできる広木の未来をつくりたいという目的意識をもって、意欲的に調べたり、まとめたりすることができる。(学びに向かう力・人間性等)

## 3 単元について

### (1) 教材観

本単元では、「広木のまちの変遷を比較」とそこから見出したよさと課題から住み続けたいと思えるような「広木の未来予想図づくり」を教材として取り上げる。

これまでの自身の経験やまち探検に行ったり、資料を調べてみたりして得た気づきを、住み続けられる広木の未来予想図としてまとめ、まちづくり協議会の方に聞いてもらうという一連の活動を設定することで、活動への意欲を高めることができる。また、広木小OBの方をゲストティーチャーとして招き、昔の広木の様子や今の広木との違いを見たり聞いたりする体験を通して、広木の町への理解を深めるだけでなく、知りたいことを質問したり、聞いた話から広げたりするなどのコミュニケーション力の向上も期待できる。さらには調べて分かったことをまとめて、まちづくり協議会の方に発表するという活動を経て、地域の方とのつながりや関係を深めることができるよさがある。

### (2) 児童観

本学級の児童は、第2学年において、生活科の授業で「町たんけん」を行っている。また第3学年においては、社会科の授業で広木小学校の周辺について、四方位の学習と絡めながら調べ、まとめる活動を行っている。それらの学習を通して、広木の町には坂が多く、道幅が狭い通りも多いことから交通安全に配慮が必要であることや、お店や公園などが多いこと、住宅街が多いことなどから、たくさんの方が住んでいるという特徴があることを学習してきている。また、様々な事象を比較したり、そこから気付いたことを表現したりしようとするようになったこの期に、本単元を取り上げる意義は大きい。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、広木の町について自身の経験を基に語り合う場を設定する。この活動を通して、自身の経験から広木の町がどんな町なのかを想起させるだけでなく、自分と違う地域に住んでいる友達の話聞くことから、広木の町には自分が知らない側面があることに気付かせ、今の広木について調べる目的意識を持たせる。そこから実際に「広木小学校を中心に校区内を「東西

南北」のコースに分かれて町探検に出かけ、今の広木の町の実態を把握する。広木の町にはどんな良さや課題があるのかをコースごとでまとめ、発表する。その際、広木の町の中でも場所によって特色があることに気付かせるようにする。

次に、広木の今についてわかったところで、国土地理院の電子地図を活用し、広木の今と昔を比較させる。今と昔では土地の様子や使われ方、小学校の様子などに違いがあることに気付かせ、昔の広木の町について調べる意欲付けを図る。実際に昔の広木について、インターネットや本、地図の比較から調べさせる。その際、分かったこと・気付いたことだけでなく、分からなかったこともっと具体的に知りたいことも記録させ、ゲストティーチャーにインタビューできるよう助言する。広木小卒のOBをゲストティーチャーとして招いた際には、昔の広木の町の様子や暮らし、どのようにして今の広木へと変わっていったのかをゲストティーチャーの経験談を基に学ばせる。その際、町の変遷に伴い、生活の形態にも変化があることに気付かせ、今後の広木の未来について考える活動に繋がるよう意識づけをしたい。

最後に、今と昔を比較して分かったこと、気付いたことを基に「この町に将来も住み続けたい」と思えるような未来予想図を作成する。その際に、広木の町には坂や道幅の狭い道があったり、川が近くにあったりすることを想起させ、過ごしやすい町には安全性が前提にあることを考えさせる。作成した未来予想図を地域のまちづくり協議会の方に向けて発表を行い、自分も広木の町に住む地域の一員であるということと、これからの地域づくりに貢献できたという実感をもたせる。これらの活動を通して、学んだことを振り返らせたうえで、さらに自分たちにできることはないだろうかと話合わせ、これからの活動につながるようにする。

#### (4) ESD との関連

##### ・ 本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性…同じ広木の町でも、地域によって特色が異なったり、時代に伴って変化していたりするというように様々な側面を持っているということ。

相互性…広木の町には様々な世代の人が暮らしていて、住民の町に対する関りや住民同士の関わりによって町が形成されているということ。

連携性…まちづくりは協議会や一部の人たちだけでなく、地域全体で協力して行うことが安心して暮らせるまちづくりには大切であるということ。

##### ・ 本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力

広木の町には年代別、地域別によって様々な側面があり、それらを多面的・総合的に捉え、広木の町の課題や良さを考えていく。

コミュニケーションを行う力

広木の町について調べ、分からなかったことやもっと知りたいことをゲストティーチャーに質問をしたり、作成した未来予想図についてまちづくり協議会の方に発表したりして、広木について地域住民の方と意見交流をする。

つながりを尊重する態度

地域の方との関わりを通して、広木の町を暮らしやすくしていくためには住民同士のつながりが大切であるということを実感する。

### 進んで参加する態度

地域をよりよくしていくには、地域の良さや課題について進んで意見交流をしたり、自分にできることはないかと積極的に考えたりしようとする態度が大切であるということを自覚する。

#### ・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

人権・文化を尊重する

個人の人権を尊重した未来の広木を想像し，作成する。

#### ・ 達成が期待される SDG s

3 すべての人に健康・福祉を

1 1 住み続けられるまちづくりを

## 4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 学びに向かう力人間性等
① 広木の町には様々な側面があり，地域別，時代別によってよさや課題，特色などに違いが見られることに気付くことができている。 ② 学習を通して知りえたことを基に，住み続けたいと思えるようなまちづくりについて考え，まとめている。	① 資料を比較し，広木の町のよさや課題について様々な角度から考えている。 ② 資料を基に得た気付きや疑問を言葉や図などで表現している。	① 地域をよりよくしたいという目的意識を持ち，広木の町について意欲的に調べたり，意見交換をしたりしようとしている。 ② 地域の方との関わりを通して，自分も地域の一員であることを自覚し，地域のために自分にできる事を模索しようとしている。

5 単元の指導計画（全 24 時間）

学習活動	○学習への支援	○評価 ・備考
<p>1 広木の町について話し合い、今後の活動の見通しをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○公園でよく遊ぶよ。</li> <li>・その公園知らない。</li> <li>・初めて知ることもたくさんあるね。</li> </ul>	<p>○広木について知っている事、これまでの自身の広木での生活、経験について語り合う場を設け、住んでいる地域によって、知っている事、知らないことがあることに着目させる。</p>	<p>ア①</p>
<p>2 電子地図で昔の広木と今の広木を比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は山ばかりだね。</li> <li>・川の形が変わっているよ。</li> </ul> <p>3 ゲストティーチャーを招き、昔の広木について話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔は町だけでなく生活の仕方も違っていたんだな。</li> </ul> <p>4 昔と今を比較し、広木の良さや課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地やお店がたくさんできて、自然が減ったのだな。</li> <li>・住む人が増えたのはよさなのではないかな。</li> <li>・昔も今も川がすぐ近くにあるね。</li> </ul>	<p>○様々な時代の広木の様子を全体的に捉えられるよう、国土地理院の電子地図を提示する。</p> <p>○昔の広木について調べて分からなかったことや、もっと知りたいことなどに関しては、ゲストティーチャーに質問できるよう書き留めさせておく。</p> <p>○今の広木、昔の広木どちらがいいかではなく、どのように発展してきたのか、どんな良さが残されてきたのかという視点でそれぞれの広木について比較させる。</p>	<p>イ① ウ① イ①</p>
<p>5 「この町に住み続けたい」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂が多いと歩くのが大変だね。</li> <li>・住む人を減らさずに自然を増やす方法はないかな。</li> </ul> <p>6 広木の未来予想図を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい子供や高齢者が安心して暮らせる町にしたいね。</li> <li>・交通事故や災害が起きない町にしたいね。</li> </ul> <p>7 まちづくり協議会の方に向けて発表を行う</p> <p>8 活動を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい町づくりのためには住民同士の協力が必要だな。</li> <li>・もっと自分たちにできることはないかな。</li> </ul>	<p>○昔と今を比較して得た気付きなどを基に、考えるよう助言する。</p> <p>○作成法に関して、紙媒体やデジタルなど子ども自身で選択させる。</p> <p>○まちづくり協議会の方に向けて発表を行うという今後の見通しを持たせ、未来予想図の構成や見せ方など相手意識を持たせて作成させる。</p> <p>○様々な人の協力で得た学びであること、作成した未来予想図が今後の広木のまちづくりに役立っていることを自覚させ、地域住民同士の協力に着目させる。</p>	<p>イ① イ① ア② ウ②</p>